

政治資金残りあと

113,599円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

前回までの残高	49,813円
印刷代（ビラ印刷代）	27,644円
交通費（駐車場、燃料代）	12,474円
通信費（携帯電話）	6,696円
会場費差額	400円
自己資金	-50,000円
寄付 前田、尾崎、山岡、小林、南、鳥海様	-61,000円
合計 01/12/2～02/1/6	-63,786円
寄付は、さがみ信用金庫 大田支店出張所 普0051228 武松政策研究会 武松忠 まで	

市政を考える

月刊武松

発行日
02/1/7

第29号

たけまつ ただし
頒布責任者：武松 忠
武松政策研究会

激動の商業！？

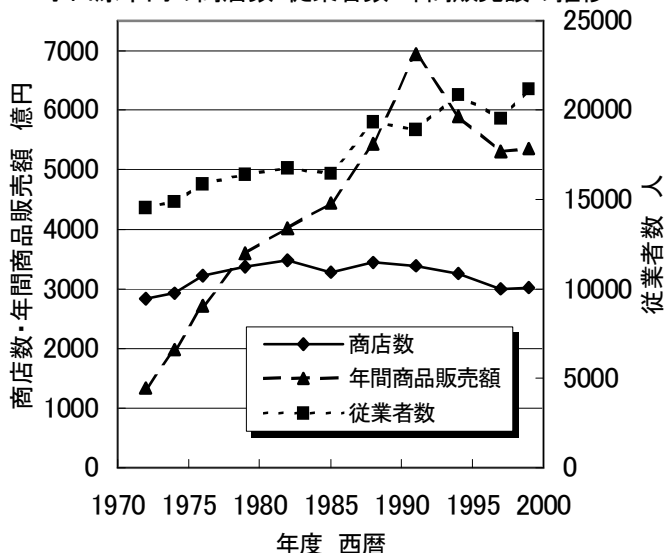
バブル前の成長カーブに乗ってきた！

丸井の閉店セールが始まり、年末年始の巡礼街道の渋滞をみると改めて、小田原の商業が激動しているように思います。右のグラフは、小田原市内の商業の約30年間の推移です。商店は小売と卸を含んでいます。

年間商品販売額を見ると85年から91年のバブルの伸びは97年に下げ止まり99年に微増となりました。バブル前の成長カーブに乗ってきたと思います。99年のクレッセや00年のロビンソンの出店の影響がまだわかりませんが、年間商品販売額としては、妥当なところに来ているのではないのでしょうか。

イトーヨーカドーやクレッセ、ロビンソンが市外でなかったのが何よりの救いですが、中心商業地域の衰退は明らかです。駅の周りが商業地域であると言った既成概念は、時節に合ったものに変えなくてはなりません。

小田原市内の商店数・従業者数・年間販売額の推移



行政評価システム！？

12月定例会では、次の項目で一般質問しました。

1 本市の高度情報化施策について

- (1) IT講習の実績について
- (2) 小田原市教育ネットワークについて

2 財務会計システム・行政評価システム導入の進捗状況について

- (1) 対象となる事業について
- (2) 評価票の設計の進捗状況について

3 巡礼街道の渋滞対策について

- (1) 総合娯楽施設建設に伴う早期の渋滞対策について
- (2) 穴部国府津線の早期完成について

巡礼街道の渋滞対策については、タウンニュースで掲載されたので省略しますが、行政評価システム

について少し解説します。

行政評価システムは、民間企業における目標管理手法と同様のもので、行政の組織で、資金と人員がどこにどれだけ配分され、どれだけの効率で回っているか、という実態を業績測定します。

その分析結果を踏まえて次の目標を決め、その実現に向けて組織全体で、改善活動を進める手法です。

民間企業の場合は、こうした改善により業績が収益となって現れますが、行政の場合は明確な評価がありません。そのため、従来は、それぞれの事業を立ち上げただけで、結果について積極的に評価してきませんでした。

住民に評価を公開することによって、努力が白日の下にさらされることとなります。成果が実れば、賞賛を浴び報われ、サボっていればそれも明らかになります。

行政評価システム⇒事業の目的と成果を客観的に評価し公表すること。

狂牛病と年頭所感！

昨年度、食卓や肉屋を直撃した狂牛病ですが、この対策を見ているとシステム思考できていないことがよくわかります。

最大の問題点は、市場に出回る牛の検査しか行わないことです。市場に出回る牛肉は確かに安全かもしれませんが、しかし5歳数ヶ月の道東産の牛が怪しかったら、どうして事前に処分しないのでしょうか？（予防対策、LOT管理）

市場に出ているのは、血統証付きの牛ばかりではないはずですが。こうした牛はどうするのでしょうか？（例外対策）

今、5歳数ヶ月付近の乳の出にくくなった乳牛の処分方法が大きな問題になっているようですが、検査をしたところで、自分の農場から狂牛病の牛を出

すわけには行きませんか、検査もさせず闇に葬る方法を考えてみましょう。

狂牛病の発見率が今の状態なら何ら問題ないのですが、出口検査だけでは、将来的に狂牛病牛が大量発生し、問題をかえって根深いものにしてしまいます。世界最高水準の出口検査だけを平然とPRしている組織では恐ろしくて仕方ありません。

さて、2002年で頭に浮ぶキーワードは・・・

サッカーワールドカップ、パイオフ、構造改革
ワールドカップは別にして、バブルの最終処理と
いうか、行政・金融・政治・医療・保険・年金を含
めた社会システムの全てを時節に合った（fit）
ものにしていかなければなりません。

と、ということで2002年は、

SYSTEM & FIT

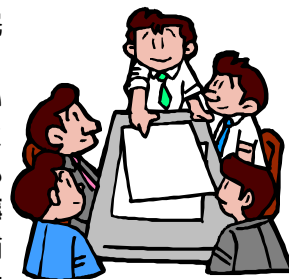
The Voice 今までに頂いたご意見から

市民活動への補助金のあり方について

60代 男性

小田原は、市民活動もかなり活発で、福祉・環境・文化と多岐にわたり、市民活動サポートセンターも設置され、今後の活用に期待をしています。

最近特に感じるのですが、市民活動への補助金のあり方を再考する時にきていると思います。補助金を受けている団体の活動が、「始めに補助金ありき」となってしまう、どう見ても補助金が運営経費になっているとしか思えない団体もあります。市民団体も運営経費は自分達で捻出し、補助金は新規事業や+αの事業に活用されるような仕組み作りが必要ではないでしょうか？ まして市から補助金をもらっていると、行政と市民の共働というこれからの時代に、市民側が依存体質では、行政と活発なやりとりなどできないと思います。



補助金のあり方は、決算特別委員会や、予算委員会で問題になっています。そうした団体から要請を受けたとしか思えないような委員の発言があることも事実です。

今年、市は（仮）市民活動支援条例の制定を目指しています。私は、従来のばらまきに近い補助金支援方法にメスを入れ、行政評価システムに似た目的と評価そして公開が伴った支援条例になるよう活動しようと思います。

武松政策研究会 月例勉強会のお知らせ

日 時：1/19（土）18時～20時

場 所：市民会館6階第1多目的室

テーマ：「税の収納から予算の執行まで」

税金の滞納が多い⇒年度末の工事が多くなる？

税金の収納状況を見ながら、予算の執行をしていく・・・

その流れを説明していただきます。講師：市役所出納室担当

どなたでも自由に参加できます。当日現地にきて下さい。参加費100円



2月の月刊武松配布と勉強会は中止致します！

2月初旬に視察が予定されているため、月刊武松の配布と月例勉強会は中止致します。

URL <http://www6.airnet.ne.jp/takematu/>

i-mode <http://www6.airnet.ne.jp/takematu/i.htm>

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通口座 7941377 タケマツタダシ でも受付けております。